

第3学年 国語科指導案

1. 単元名 漢字の組み立て（へんとつくり）
2. 単元の目標
漢字のへん， つくりなどの構成についての知識をもつことができる。
3. 本時(2/2)の学習
 - (1) 目標
漢字のへん， つくりなどの構成についての知識をもつことができる。
 - (2) プログラミングを取り入れる効果
プログラミングを通して， 主体的に活動するとともに， 周りの友達との対話的な学習が期待できる。
 - (3) 展開

学習活動	・指導上の留意点(◇評価)
1 本時のめあてや学習課題を確認する。 漢字のつくりについて調べて， 習った漢字で漢字パズルを作ろう。	・つくりの意味を確認させる。
2 教科書の漢字付録から「へん」と「つくり」に分けられる漢字を集め， パズルを作る。	・「へん」と「つくり」に分けて書けるカードを用意することで， 「へん」と「つくり」による漢字の構成を意識させる。 ◇漢字の構成について理解している。 ◇「つくり」に着目しながら意欲的に漢字を類別できている。
3 作ったパズルを友達同士で楽しむ。	・その「つくり」が何と関係している漢字に多く使われているかを意識させる。
4 viscuit を用いて「へん」と「つくり」で漢字を合成するプログラムを作り， 友達と見せ合ったり改善点を話し合ったりする。	・自力でのプログラム作りと， 互いに見せ合ったり教え合ったりする活動をバランスよくできるよう助言をする。
5 本時のまとめをする	

4. 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	「つくり」と漢字の構成について理解し， 意欲的かつ丁寧に漢字パズルを作ることができ， かつ積極的に友達と交流できる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	「つくり」の理解が不足している児童には例を示すとともに， いくつか手本を見せて理解を促す。作業が進まない児童には， 周りの児童の作品を参考にさせるなど， 声掛けをする。